

Title	Viva il Re! Viva il Papa! : 口繪の説明 : 世界地理風俗大系第十四巻を見て
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1928
Jtitle	史学 Vol.7, No.4 (1928. 12) ,p.163(629)- 164(630)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19281200-0163">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19281200-0163</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## Viva il Re! Viva il Papa!

(口繪の説明——世界地理風  
俗大系第十四卷を見て)

『コロセウムのあらん限りはローマあるべし、コロセウムの倒るときローマは亡ぶべし、ローマの亡ぶるとき世界も之と共に亡びん』と豫言的に第八世紀の順禮に言はれたといふローマ市のコロセウムは、ローマ帝國永續の象徴であつたと共に、またその雄大を記念する遺跡の一であつて、第八世紀の頃からしてかくは呼ばれ來つたけれども、本名は『アンフイテアトルム・フラヴェイウム』と稱せられたものであるが、その中央に、昨(一九二七)年五月下旬、新たに十字架が建立せられた。その除幕式には、イタリア王國皇后陛下を初め内親王達が臨御せられ、多くの外國人を混へた夥多の觀衆を前にして、多數の少年と一百名の唱歌隊は廣場にあつ

Viva il Re! Viva il Papa! (間略)

て讚美歌に和し、その除幕とともに、五百羽の白鳩が、ローマのキリスト教迫害時代に多くの殉教者を出したるベロ圓形劇場の地下室から放たれて、一段の光彩を加へ、最後に『國王萬歲! 法王萬歲!』の唱和を以てこの式が結ばれたといふことである。(『イタリヤン・メール』、一九二七年五月二十八日號)

曾て第十八世紀の中葉にこの處に建てられた十字架が、一八七〇年九月二十日、イタリア王國の統一完成のため、ローマ市の占領せられて以來、國王と教權を握れるローマ法王との間に執拗に争はれた反目のため、五十餘年の間取拂はれてゐたのを、こゝに復舊することが出來たのは、ムツソリーニの政策(『アニユアル・レジスター』、一九二七年)一五四頁)とその努力による政教融和の兆とも見られる。こはイタリアにとつての些事ではないのである。

先般發行せられた『世界地理風俗大系』第十四卷イタリア篇(新光社發行)は、鮮明なる多數の挿畫と専門大家の平易なる記事とに充ち、

圓本流行の際稀に見る理想的良書であつて、中にも大類伸博士の『永久の都ローマ』、山本信次郎氏の『法王と法王廳』の如き、讀むべきである。しかし後者の權威ある記事の中には幾分誇張せられた嫌がないではない様に見えるけれども、一九二八年版の年鑑をも引用して(同書三〇八頁)最新の記事たるに努められた點は、大にその努力を多とすべきであるが、政教何れにとつても重大なりと思はれるコロセウムに於けるこの十字架の建立については全く閑却せられてゐる。また同書一〇〇頁の十字架なき寫真版は決して新しいものではない。偶々自分のユダックに收めてあつた不出來な稽古寫真(一九二七年六月六日撮影)を引伸ばしてこゝに掲載することゝしたのはそのためである。

因にその臺座の銘刻は西側正面なる『慶でたし、唯一の希望なる十字架』よりして、右廻り南、東、北の順序に之を記せば、左の如くであつたようである。

cruci vetustae  
 anno iubiliaei MDCCL  
 auctore S. Leonardo a portu mauritio  
 Flamorum amphitheatro  
 a maioribus pientissime impositae  
 ob Temporum fortunam ablatae  
 Haec nova Sufficitur  
 Rei publicae ac civitatis moderantibus  
 optime iuvantibus  
 anno domini MCMXXVI

Ave  
 Crux  
 Spes unica

anno V  
 Pontificatus  
 Pii XI pont. max.  
 a christi cruce  
 Per Helenam aug. recuperata  
 Saeculari XVI

anno XXVI  
 Principatus  
 Victorii em. III regis  
 ab Italia  
 Benito Mussolini Duce  
 Instaurata atque renovata  
 Anno IV